



富山大学学報

第32号 (昭和37年7月)

目 次

関係法令	1
人事異動	1
総合情報	2
文部省委嘱開放講座の開設	2
人事関係の研修会	2
日 誌	2
職員住所	3

関 係 法 令

政 令

- 第 313 号 会計法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令 37. 7. 31官報
- 第 314 号 予算決算及び会計令の一部を改正する政令 37. 7. 31 〃

規 則

- 会計検査院第 5 号 会計検査院事務総局事務分掌及び分課規則の一部を改正する規則 37. 7. 3官報
- 人事院 9-22 暫定手当の一部を改正する規則 37. 7. 5 〃
- 〃 9-31 隔遠地手当の一部を改正する規則 37. 7. 5 〃
- 〃 9-17 俸給特別調整額の一部を改正する規則 37. 7. 5 〃

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 庁
事務員 (庶務課)	宮越一男	文部事務官に任官させる。	37. 7. 1	富山大学
(〃)	清水寛	〃	〃	〃
(会計課)	結城進	〃	〃	〃
(〃)	村井弘	〃	〃	〃
(教育学部)	氷見嘉康	〃	〃	〃
技能員 (薬学部)	多村節子	〃	〃	〃
事務員 (工学部)	中島澄子	〃	〃	〃
(〃)	門島政巳	〃	〃	〃
教務員 (薬学部)	宮原龍郎	文部技官に任官させる。	〃	〃
(工学部)	坂下和子	〃	〃	〃
(〃)	稲垣日出男	〃	〃	〃
技能員 (〃)	高辻きみ子	〃	〃	〃
(附属中学校)	福村より子	〃	〃	〃
文部事務官 (工学部)	堀田吉太郎	文部事務官を免じ文部技官に任官させる。	〃	〃
〃	南立作	〃	〃	〃
〃	高山藤一郎	〃	〃	〃
	川田節子	事務員(会計課)に採用する。	〃	〃

助 教 授 (薬 学 部)	森 田 直 賢	教授に昇任させる。	37. 7. 16	文 部 省
講 師 (教 育 学 部)	大 沢 欣 治	助教授に昇任させる。	〃	〃
(〃)	泉 敏 郎	〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (経 済 学 部)	野 上 泰 男	文部省大学学術局に出向させる。	〃	富 山 大 学
助 手 (薬 学 部)	吉 崎 正 雄	助教授に昇任させる。	〃	文 部 省

総 合 情 報

文部省委嘱開放講座の開設

ことしの文部省委嘱開放講座は、ドイツ文学及びドイツ文化講座と決まり、7月16日から8月7日まで通算40時間の講義が、文理学部の2番教室で開かれた。講師と講義の題目は

- 岡崎初雄教授 「ドイツ文化とドイツ文学」
- 大谷重彦講師 「トーマスマンー若き日の悩みとその作品」
- 上野英雄講師 「ゲーテの抒情詩の鑑賞と研究」

であった。

聴講者は、男子27名、女子37名、計64名で、公務員、学生、生徒、教員、会社員が殆んどあつて、このうちには、大学の事務職員も数名加わつて熱心に聴講した。なお、聴講生のうちには、80才を越えた銀髪の田上清貞眼科医が加わり異彩を放ち、特に講壇に立つて「50年前ミュンヘン留学の思い出」を語つた。

人事関係の研修会

本省人事課任用班主査手塚卯津美及び審査班主査吉野幸夫の両氏が来富したのを機会に、これを講師として、「職場に関する基本概念」についての研修会を6月21日2時から文理学部会議室で開いた。これには、各部局の事務職員約50名が聴講し、熱心な質疑応答で5時頃散会した。

研修内容は、国立大学職員を対象にして、(1)行政組織、(2)職員組織、(3)管理関係、(4)勤務時間、(5)身分関係、(6)勤務関係、(7)勤務環境などについてである。

日 誌

本 部

- 7月 2日 科学技術庁放射線検査官来学文理、薬学両学部視察
- 6日 評議会(第5回)
- 11日 熊本大学本田弘人学長来学

- 13日 一般教育審議会
- 17日 入試管理委員会
- 18日 文理学部庶務事務監査
- 19日 前五十嵐尚会計課長来訪
- 23日 経、図庶務事務監査
- 24日 教育 〃
- 27日 工学 〃
- 28日 一般教育小委員会
- 31日 薬学部庶務事務監査

文 理 学 部

- 7月 4日 北陸東海地区体育大会説明会(第1会議室)
- 11日 職業補導委員会
教授会
人事教授会
夏季休業
- 16日 ドイツ文化公開講座開始(8月7日まで20日間
2番教室)
- 18日 庶務事務監査
- 21日 学部予算委員会
- 30日 共済組合体育大会班長会議

教 育 学 部

- 7月 4日 職業補導委員会、臨時教授会
- 5日 選考委員会、人事教授会
- 11日 全国中学校、小学校学力テスト(12日まで)
選考委員会、定例教授会
- 13日 教務委員会
- 17日 選考委員会
- 18日 職業補導委員会 補導委員会
- 19日 学窓会役員会
- 20日 教務委員会 補導委員会
- 21日 夏季休業
- 24日 学内庶務監査
- 25日 人事教授会
- 26日 予算委員会
- 28日 人事教授会

経済学部

- 7月 3日 職業補導委員会
 10日 〃
 12日 教務委員会, 教授会 (第6回)
 16日 財務委員会
 17日 職業補導委員会
 19日 教務委員会, 教授会 (第7回)
 夏季休講 (8月27日まで)
 24日 職業補導委員会
 31日 〃

薬学部

- 7月 2日 放射性同位元素研究室立入検査に, 科学技術庁
 原子力局放射線安全課, 総理府事務官松村三郎
 氏他1名来学
 5日 職業補導委員会
 7日 学生文学研究発表会
 11日 夏季休業開始
 関西薬学生連盟総会 (15日まで, 近畿大学)
 13日 講座主任会議
 17日 人事教授会, 教授会
 19日 薬学部他起工式 (於五福)
 31日 庶務事務監査

工学部

- 7月 5日 国立大学工学部事務協議会当番校打合せのため
 金沢, 福井, 新潟の各大学工学部事務長等来部
 9日 教授会, 人事教授会
 27日 庶務事務監査

附属図書館

- 7月 7日 分館長会議
 10日 部内研修会
 12日 第2回図書館商議会
 19日 国立大学北信地区図書館協議会 (新潟大学)
 20日 〃 (〃)

経営短期大学部

- 7月 3日 専任教官会議 (第7回)
 6日 講演会「証券市場の動向」大阪市大川合一郎氏
 16日 追試験 (7月24日まで)
 18日 教官会議 (第1回) 専任教官会議 (第8回) 山
 の安全の講話と映画の会

- 20日 専任教官会議 (第9回)
 21日 立山剣岳登山実習 (7月25日まで)
 24日 前学期授業終了
 25日 補講 (26日まで)

職員住所

新任者

- 事務局
 事務員 川田 節子
 変更
 事務局
 事務官 藤田 信二
 〃 渡辺 国男
 工学部
 教授 野路 末吉

発行 昭和37年11月1日

印刷 昭和印刷株式会社

